

ほうこく 報告レポート



\ みんなの声がミライをつくる /

ぐんまこどもみらいワークショップ2024

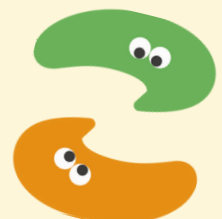
「こどもたち『一人一人が大切にされる』ってどういうこと？」
をテーマに、グループごとに話し合って発表しました。

グループ

- A チーム 小学4年生：3名
- B チーム 小学5・6年生：6名
- C チーム 小学5・6年生：6名
- D チーム 中学生：7名
- E チーム 高校生・大学生世代：4名

ファシリテーター

- ・川瀬 信一 さん（一般社団法人子どもの声からはじめよう代表理事
／こども家庭庁参与）
- ・塩成 透 さん（認定NPO法人Learning for All職員／こども家庭庁
こども若者★いけんぷらす登録ファシリテーター、ぽんぱーサポーター）
- ・豊島 美和 さん（子どもアドボカシーセンター☆ぐんま☆代表理事
／一般社団法人子どもの声からはじめよう アドボケイト）
- ・藤本 雅衣子 さん（認定特定非営利活動法人カタリバ みんなのルール
メイキング事業 事業責任者／一般社団法人子どもの声からはじめよう
子どもアドボケイト）
- ・中島 朋子 さん（子どもアドボカシーセンター☆ぐんま☆事務局/
スクールソーシャルワーカー）



ほうこく 報告レポート

A チーム 小学4年生：3名

チームの発表まとめ

大切にされているなと感じたできごとは？それを増やすには？

- 思いやりややさしさ、心配されることで、大切にされていると感じることを増やすには、「友達が困っていたら助ける」をしたらいいと思います。
- いつもやってもらうことも「大切なこと」「大切にされること」だと思いました。それを自分もできるようにしたり、当たり前だと思うことも大切だと気づけたりすることはいいと思います。
- 思いやり、やさしさ、心配される、友達が守ってくれた時などに、どういう風な気持ちになるか、また相手の気持ちを考えればいいかを、みんなに伝える。

個々の具体的な意見

【1】大切にされているなと感じたできごとは？

【思いやり・やさしさ・心配される】

- ・ けいどろで転んだときに「だいじょうぶ？保健室行く？」と言われたこと。
- ・ 鬼ごっこで私が転んでしまったとき、友達から「一緒に保健室に行こう」と言われた。

【願いをかなえてくれた】

- ・ お姉ちゃんが〇〇ほしいなあ～と言ったら、次のたんじょう日に買ってくれた。
- ・ 4年生の時、ママにキャラ弁にしようと言ったら、かわいいキャラ弁にしてくれた。

【ほめられた】

- ・ 英語検定を受けた後に（結果が出たとき）すごいね～。さすがだ～。と言われた。

【いつもやってもらう】

- ・ ドッチボールでいつも遅れたときに待ってくれること。
- ・ 「おはよう」「こんにちわ」「こんばんは」などをいつも言ってくれて、大切にされてるなと思いました。

【守ってくれた】

- ・ 友だちがかばってくれた。



ほうこく 報告レポート

A チーム 小学4年生：3名

個々の具体的な意見

【2】それを増やすためにできること

【思いやり・やさしさ・心配される】

- ・日頃から、人が転んだときにも自分から声をかけて、自分が転んだときに言ってもらおう。
- ・友達が困っていたら助ける。・知らない人も助ける。

【願いをかなえてくれた】

- ・感しゃの気持ちを伝える。
- ・自分が大人になったとき、子どもにこんなことをさせてあげたい。

【ほめられた】

- ・自分から進んでやる。・ふだんから感しゃする。

【いつもやってもらおう】

- ・自分もいつもできることをする。・当たり前だったことに気づけるようになる。

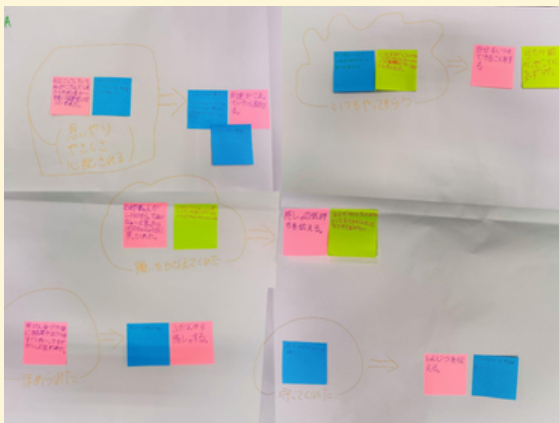
【守ってくれた】

- ・真実（本当のこと）を伝える。・感しゃの心を忘れずに。

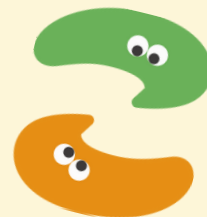


ファシリテーター（班でお話を聴いていた人）の感想

- ・開放感のある場所で、初対面でも話しやすい雰囲気があったようです。
- ・友達や家族などの身近な人に対するこどもたちの素直な気持ちを感じることができました。
- ・グループ発表の場面では、緊張している様子もあったので、ファシリテーターもさらに協力できると、より良いと感じました。



だいじょうぶ？って言われ
るとうれしいよね



自分も言ってあげられ
るようにしたいな

ほうこく 報告レポート

B チーム 小学5・6年生：6名

チームの発表まとめ

大切にされているなと感じたできごとは？それを増やすには？

- 自分の力でみんなに良いことをすることが大切だと思いました。なぜならみんなで動くことも大切だけど、自分から動いてコミュニケーションをとったり、相手を気づかうことが大切だと思ったからです。それをふまえると少しの行動が大きな意味をもたらすのだと思いました。
- こどもの私たちが「幸せだな」とか「恵まれているな」と思うのは、おたんじょう日。おたんじょう日に祝ってもらえることに、嬉しいとか恵まれているとか思うので『おたんじょう日プロジェクト』をやろうと思いました。やり方は、学区や地域で同じ月の誕生日のこどもを集めて、たんじょう日の人同士でゲームをしたり、手紙を交換したりします。それで絆を深めたり、みんなで祝うっていうのがいいと思いました。
- 家などで欲しいものを買ってもらえない人のための『リユース・リサイクルプロジェクト』をやるといいなと思いました。やり方は自分が使わなくなった物を、集める場所に出して、欲しいものが買ってもらえない人たちのために洋服などを渡すといいかなと考えました。

個々の具体的な意見

【1】大切にされているなと感じたできごとは？

【じぶんのいいこと×みんなでしくみで】

- ・たんじょう日にプレゼントとケーキを毎年もらえること、たんじょう日ができること。
- ・「きらい」と思わせることなく話しかけてくれるとき。親しさを感じ、大切にされているんだと思う。

【じぶんのいいこと×じぶんのちからで】

- ・ポスターなどが選ばれたときに「おめでとう」と言ってくれた。
- ・赤ちゃんのとき、病気になったことがあり、その病気をいっしょうけんめいお医者さんたちが治そうとしてくれて、お母さんが心配してくれたこと。
- ・手を骨折した時に、病院に連れていってくれたとき。
- ・たんじょう日に、友達や父や母が毎年祝ってくれるとき。
- ・自分のたんじょう日を友だちがいわってくれとき。
- ・たんじょう日など自分を祝ってくれる時
- ・自分のたんじょう日やタンプレをすごく祝ってくれる。かってきてくれる。
- ・行きたい所に行かせてもらえること。
- ・好きな物を買ってもらえたとき。
- ・習いごとが遅くまであって、疲れたり具合が悪いときには休ませてくれること。（私の体を大切にしてくれること。）
- ・クレーンゲームなど、欲しいものがあつたときやらせてくれること。 ↓つづく



ほうこく 報告レポート

B チーム 小学5・6年生：6名

個々の具体的な意見

【みんなにいいこと×みんなでしくみで】

- ・嫌なことがあった時に、母が「だいじょうぶ？」などと、声をかけてくれるとき。
- ・「ありがとう！！」「～おかげで」と言われるとき（人の役に立つことができている気がするから。）
- ・年上の人（先生・6年生）に「スゴイね！！」「～できるじゃん！」と言われるとき。
- ・お母さんに「すごいね！！」「やったじゃん」とかを言われるとき。

【みんなにいいこと×じぶんのちからで】

- ・夜ごはん「○○○食べたい」と言うのと作ったり、買ってくれたりするとき。
- ・自分たちのためにご飯を毎日作ったりしてくれるとき。
- ・足をひねってしまったときに友だちが保健室に連れて行ってくれたとき。
- ・自分のために、塾や習いごとをさせてくれること。

【2】それを増やすためにできること

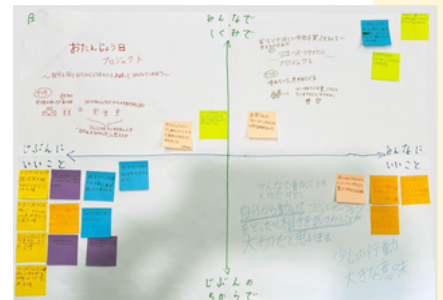
おたんじょう日プロジェクト ～自分と同じおたんじょう日の人と集まって、皆で祝おう～

- 01) 学校や地いきで日を決めて集まる
- 02) たんじょう日の人同士でゲームや手紙を渡し合う
- 03) たんじょう日を祝えない人も「自分は大切なんだ」と思える♥

家などでほしい物を買ってもらえない子たちなどのための

～リユース・リサイクル プロジェクト～

- 01) 使わなくなった物などを
- 02) ほしい物などを買ってもらえない子たちなどのために！



みんなで動くことも大切だけど、自分から動いてコミュニケーションをとったり、相手を気づかうことが大切だと思います。少しの行動、大きな意味。

ファシリテーター（班でお話を聴いていた人）の感想

- ・ファシリテーターとして参加させていただいたものの、対話からどんどん形になっていくのを一番近くで聞かせてもらい、とても楽しい時間でした。
- ・コミュニケーションを取りながらも自身の思いや意見を伝えあい、時間が足りないくらい話が盛り上がっていました。
- ・プロジェクトという形の具体的な解決手段へと自然とつながっていったのが素晴らしいと感じました。

